

専大生の千才を生み出すさまざまな取り組み、ゼミナール、就職支援、国際交流などを紹介します。あなたの「専大ライフ」をイメージしてください。

# 受験生特集 5~9面

## 懸賞論文と文芸作品コンクール

### 文芸鳳賞に板倉貴明さん

### 柘植ゼミで文章表現学ぶ



「懸賞論文と文芸作品コンクール」(学生部主催)の2008年度の入賞者が決まり、表彰式が12月9日、生田キャンパスで行われた。最高賞の鳳賞は、「文芸作品」部門で板倉貴明さん(文4)、「写真」の「夕日に別れを告げて」が選ばれた(懸賞部門は該当者なかった)。

審査員6人全員が推しての鳳賞となった板倉さんの作品は、大学受験を控えた高校生たちが主人公。同級生の交通事故死がもたらした混乱、葛藤と再生への道のりをみずみずしく表現した。現代文学が好きです。ゼミ指導の柘植光彦先生からは、「小説の文章構造や細かい表現方法を学び、それを小説づくりに生かしました。イメージが固まっていたらまた書きたい」と喜びを語った。

文芸部門の審査委員長の小林恭二教授は「板倉作品は最後のエピソードが効いていた。これからは、もっと野心的な小説にも挑戦してほしい」と注文した。

同じく審査員の柘植教授からは「今回は1年次生が2人入賞した。いずれもきらりと光る作品で、今後大いに期待したい」との声も寄せられた。

### 懸賞論文

- 優秀賞(賞金5万円)
  - ▽横山高(経済4) 『平等神話』の崩壊もはや一億総中流社会ではない』
  - ▽安藤徳明(経済3) 『日本の受け入れ態勢から見る難民問題』受け入れ先進国を目標して』
  - ▽橋口昌幸(商4) 『くるみマーク』取得企業の証券市場における評価』
  - (佳作) 同2万円
    - ▽古農 哉(経済3) 『シンガポール国民統合に関する要因の再検証』
    - ▽竹田綱志(経済3) 『規制緩和がもたらした悪夢』貸切バスの事故はなぜ起きたか』
    - ▽前澤美奈(文3) 『おとぎ話は子どもを教化しているのか』
    - ▽尾花理恵子(文3) 『葬儀の社会史』共同体から個人化へ』
- 入賞者(敬称略)
  - 文芸作品
    - 鳳賞(賞金20万円) 板倉貴明(文4) 『夕日に別れを告げて』
    - (優秀賞) 同5万円
      - ▽丹下梓美(法2) 『隣の虎』
      - ▽吉田千晴(文3) 『ともしび』
      - ▽高橋歩(文1) 『年速』
      - ▽小野みさき(文3) 『月光を待つ造花』
      - ▽有賀拓郎(文2) 『さよなら、またね』
      - ▽鈴木友加里(文1) 『不条理(げんじつ)の世界』
      - ▽岡登陽平(ネット情報2) 『雨音によせて』

## マレーシア訪問など8人 学生部の後 海外研修・国際交流奨励生決まる



海外での視察・調査やボランティア活動、スポーツ大会の参加などの体験旅行を希望する学生に、奨励金を支給する学生部の海外研修・国際交流奨励制度の08年度後期奨励生に1人2団体(計8人)が決まった。

マレーシアを訪問する3人は、みな文学部人文科学科社会学専攻生。栃木県での社会調査実習から、マレーシアのマハティール元首相が提唱した同国の経済政策ビジョン「WAWASAN 2020」を知り、同国の地域産業の現況を調べる。

代表の大村望さんは「発展著しいクアラルンプールの姿や、シンガポールとの国境近くのジョホールバルでのパームオイル産業の様子も見学します。日本の地域活性化との比較ができたらい」と抱負を話した。

奨励生の氏名(敬称略)
 

- ▽渡航先・目的などは以下の通り。

## 学生の人生設計をサポートする「キャリアデザインセンター」

インターシップの実施などを通じ、学生の人生設計をサポートするキャリアデザインセンター(センター長 池本正純経営学部教授)。同センターでは学生の自主性を促進するために「専大ベンチャービジネスコンテスト」「ファンドマネージャー専大グランプリ」「投資パフォーマンス部門」の合同表彰式が1月9日、生田キャンパスで開かれ、入賞者に賞状と賞金が授与された。

**＜表彰式＞**

- ▲「専大ベンチャービジネスコンテスト」 鳳賞・柿内 快士さん(育友会長特別賞)
- ▲ファンドマネージャー専大グランプリ 「投資パフォーマンス部門」 優勝(個人)・今井 秀さん
- ▲ファンドマネージャー専大グランプリ 「投資パフォーマンス部門」 優勝(団体)・ネットファン

### 専大ベンチャービジネスコンテスト

11月9日、「ベンチャービジネスコンテスト」のプレゼンテーション大会が生田キャンパスで開かれた。第1次審査を通過した10組がビジネスプランを発表。「Say You Start」と題し、声優グッズの専門店出店プランをプレゼンした柿内快士さん(商1)代表らが最優秀賞である鳳賞と育友会長特別賞を受賞した。

主な入賞者は次の通り。他の入賞者についてはホームページに掲載。

【優秀賞】▽川口健太郎(経営4) 〓〓〓〓を使ったB2B設置導入型販促事業 Power by Zan(サーズ) ※KSP特別賞も受賞▽宇井徳孝(経営3) 〓〓〓〓地球に優しい交通手段▽レンタル自転車健康エゴ生活▽加藤愛菜(経営3) 〓〓〓〓たたりwish▽土屋香織(経営3) 〓〓〓〓フードレストラン※敬称略

**＜プレゼン大会＞**

- ▲優秀賞・宇井 徳孝さん
- ▲優秀賞・川口健太郎さん
- ▲優秀賞・加藤 愛菜さん
- ▲優秀賞・土屋 香織さん

### ファンドマネージャー専大グランプリ

「ファンドマネージャー専大グランプリ」が12月19日で行われた。08年度は102人(学生94人、育友会員5人、教職員3人)が参加。株式のシミュレーション売買の最終残高で競う「投資パフォーマンス部門」は、中川哲昭さん(経営3)代表らが最優秀賞に輝いた。

各部門の主な入賞者は次の通り。詳しくはホームページで。

【投資パフォーマンス部門・個人戦】優秀賞 〓〓〓〓名倉雄平(商2)、佐藤壮平(経済4)

【分析レポート部門】 准最優秀賞 〓〓〓〓上仲孝明(商3) 代表、団体執筆作品、優秀賞 〓〓〓〓上仲孝明(個人執筆作品)、須田徹也(商3) ※敬称略

## 海外・インターシップ体験報告も

### 課題解決型インターンシップ成果発表会

川崎市と連携し、地域の企業や団体から出された商品開発や街づくりなどの課題を専大生独自の視点で解決する「課題解決型インターンシップ」の成果発表会が1月8日、生田キャンパスで開かれた。

プログラムのうち、川崎市男女共同参画センター、のぼりとゆうえん隊、(株)シノヤ、日本理化学工業(株)、「しんゆり」芸術のまちづくりフォーラムに協力した学生の活動報告のほかに、日本の中小企業の海外現地法人にインターンシップに参加した飯塚元人さん(文3)も成果を報告。約250人の学生たちに、インターンシップだからこそできる貴重な体験を紹介した。

## 学生3人が成果発表

同志社大・現代GPPシンポジウム

12月6日、同志社大学で開かれた現代GPP「学生の主体的なキャリア形成を促す体験型教育の取り組み」シンポジウムの事例発表に、立教大学と共に本学の取り組みを紹介し、課題解決型インターンシップで成長を実感した学生3人が体験発表を行った。

日本理化学工業(株)の課題解決について発表する小池一徳さん(経営3)